

2か年の研究の流れ

第1年次の研究の問題点

道徳的判断力育成の指導とルールやマナーの指導の位置付けが曖昧であった。

第1年次の研究

道徳的判断力の育成とルールやマナーの指導の両方を同時に行い即時的な効果をねらった。

第2年次の研究

「道徳の時間」は、心を耕し道徳的判断力を育成する時間として再確認する。

各教科、特別活動並びに総合的な学習の時間等にルールやマナーの指導を行う。



研究の第2年次
は、研究の方向性を
やや変更しました。

このことで、道徳
の時間の位置付け
が、より明確になり
ました。